

いよいよ始まった2004年。毎年、日本で2番目に早いオリエンテーリング大会として定着した大会に、今年も70名の参加者が集まりました。

会場までにプレ-O?

今年は、大阪府和泉市に広がる光明池緑地を中心に、コースを組んでみました。昨年の18回大会が雨中での大会となったため、今回も雨をしのげる会場を探したのですが、あいにく正月の三が日は公的機関はすべて休み。なんとか雨を避けようということ、自動車道路の高架下に避難できる場所として、新檜尾公園を集合場所として設定しました。まあ、心配は杞憂に終わって、大会当日は、晴天。心地よい風がそよぐ、いい天気でした。

しかし、会場の設定場所がわかりづらく、参加者は駅からたどり着くのに一苦労をかけたようで、すいませんでした。駅周辺につけた誘導テープが少なくてわかりづかったが原因ですが、要項でもきっちり載せていなかったのが原因でもありました。

公園での高速-O

光明池緑地は、ため池である光明池の回りに整備された緑地公園で、その回りの団地も含めると、かなりの緑地が整備されたいい環境にあります。当然、レースは走力重視のスピード勝負となります。かなり広いので、それでも優勝タイムは40分ほどかかる、なかなかのコースです。ただし、途中に通行量の多い道路があるので、その通過を避けるために、KOLAの大会としては珍しく、スタートを会場より15分ほど歩いた場所まで移動しなければなりませんでした。



レース以外のお楽しみ

KOLAの新春大会のお楽しみは、なんといっても参加者に振る舞われる無料の善哉と、有料のおでん。これは毎年、KOLA会員の寺田強・保氏の家族が給出で、年末からしこんで作ってくれる完全手作りのプレミアなもの。今年もみんな、食べてくれていました。残念ながら、用意していたビールはあまり売れなかったですが、日本酒を差し入れてくれた参加者もあり、みんなであり

がたく頂きました。

もう一つの楽しみは「お楽しみレース」。10名限定で行われる商品争奪戦ですが、10分以内のミニ-Oなので、なかなか面白いものです。ゴール者から、好きな商品を選べるのですが、みなさん、ゴールをしてからほっとしている、商品を選ぶのも忘れていたようです。

また、ハンディ戦のKOLA杯として与えられる商品のTシャツと年間無料招待券も魅力ですよ。

優勝者のコメント

MAの優勝に輝いた小林康浩さんからのコメントです。

新春大会は2年続けて奥村氏(ウルトラクラブ)に負けていたので、ようやく優勝できたという気持ちです。今年の大会は天候も良かったので、気分良く新年を迎えることができました。ありがとうございます。レース自体はルートに困るようなレグや落とし穴のように失敗を誘うレグが無い素直なコースのため、スピード勝負だったと言えるでしょう。「道ばかりで面白くない」と思う人はいると思いますが、このような超高速レースを体験することは、山のトレインでのOLのスピードアップにも有効だと私は考えています。来年も楽しい大会をお願いいたします。(横田実)

詳しくは、ウェブサイトも
<http://www63.tok2.com/home2/kola/>

